

はじめに

鹿児島県の大隅半島の北部に位置する曾於市は、平成17年7月に大隅町、末吉町、財部町の3町が合併して誕生しました。



本市は、霧島山麓の豊かな自然の恵みを受け、広大な大地と森林が育まれるなか、農林業を中心に発展してきました。

しかし、近年の生活の利便性や産業の発展に伴って、身近なところでも様々な環境問題が発生しております。また、地球温暖化といった地球規模での環境問題にも直面しており、私たち一人ひとりの環境に対する正しい認識、意識が強く求められているところです。

平成19年7月に、曾於市における今後の環境の保全及び形成についての方針として「曾於市環境基本条例」を制定し、その中で基本的な理念を定め、現在及び将来における市民の健康で文化的な生活の確保を図ることとしたところです。また、その目的達成に向けて、各種施策を総合的かつ計画的に推進する指針として、この度、「曾於市環境基本計画」を策定しました。

今後、本計画の目標である「人と豊かな自然が共生して 住みたくなるまち 曾於市」を目指し、次世代に良好な環境を残すために、市民、事業者、市が自らの立場を理解し、協力・協働して、この計画を積極的に推進、取り組んでいく必要があると考えております。

最後に、本計画の策定にあたり、アンケート調査等にご協力いただきました市民の皆様をはじめ、熱心にご審議いただきました曾於市環境対策審議会、曾於市環境基本計画策定市民会議の各委員の皆様並びに関係各位に対しまして、心から感謝申し上げますとともに、本計画の推進・目標の実現に向けて、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成22年3月

曾於市長 池田 孝

